

韓 国 語

第 1 高等学校教科担当教員の意見・評価

1 前 文

問題の形式は本試験の試験と同様であり、第 1 問への評価は省略する。第 4 問の長文が、本試験の試験より難易度が高いように思う。問題作成の方針に「実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視する。」とあるが、追・再試験の第 4 問の長文問題は、抽象的な概念を扱った、精読を必要とする出題であり、そのため、難易度も高くなったと思われる。

例年通り本委員会では、平均点を基にした評価は行わず、「高等学校で 4～5 単位を 3 年間学習した生徒」が受験することを想定して各問題の評価を行う。また、その際の難易度の基準として、中級水準となる、韓国語能力試験 (TOPIK) のⅡ (3～4 級) 及び「ハングル」能力検定試験の 3 級～準 2 級レベルを想定していることをここに明記する。

なお、評価に当たっては、報告書(本試験)14 ページに記載の 8 つの観点により、総合的に検討を行った。

2 試験問題の内容・範囲等

本試験の試験同様、前文の「高等学校 4～5 単位を 3 年間学習した生徒」の学習到達度を測ることのできる問題であるかどうかを判断した。また、紙面の制限上、第 1 問については、適切な問題とは言えない問いを中心に上げることとする。

第 1 問

A 発音に関する問題

本試験同様、発音のみをとり出して問うことが、知識の理解の質を問う問題や、思考力・判断力・表現力などを発揮して解くことが求められる問題と言えるだろうか。また、発音規則や発音変化の規則の知識のみをとり出して問うことで、学習指導要領が目標に掲げている到達度をはかれるのか甚だ疑問である。本試験同様、第 1 問 A の発音に関する問題の出題の方法を再検討していただきたい。また、同じような出題形式は、今後、されないことを切に願う。

B 適切な助詞、語尾、語彙を選択する問題

学習範囲内の語彙や表現、文法であるが、本試験同様、問 3 のように、「돈을 찾다 (金をおろす)」という語彙の知識のみを問う問題が、共通テストで必要とされる思考力を問う問題と言えるか疑問が残る。

C 日本語から韓国語への翻訳で、語彙力、文法力、表現力を問う問題

本試験同様、日本語から韓国語への翻訳に加え、語順整序も問う出題で、さらに、直訳の誤答も混ざっているので、難易度は少し高くなったと言える。直訳では不自然な韓国語と直訳ではない自然な韓国語を見極めなければならず、日本語の国語力や思考力も問われる問題である。全て学習範囲内の語彙で良問と言える。

第 2 問 比較的長い会話文を読んで、空欄に入れる適切な表現を選んだり、会話文の内容を把握したりする問題

A 家族でどこにキャンプをしに行くか相談している会話文。以下に各問の内容を見ていく。

問 1 空欄に入る適切な表現を選ぶ問題。誰に呼び掛けているのか前後の対話文を読み取れ

ば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 前後の対話文から空欄に入る表現を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 下線部㉓の「이거(これ)」が指すメモの内容として正しいものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 下線部㉔の「알아서(適当に判断して)」と同じ意味のものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。このように、語彙の出題も対話文に挿入して出題していただきたい。

問5 本文の内容と合うものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

B 伝統茶の店のオーナーと店員がメニューをどのように修正すればよいか相談している会話文。以下に各問の内容を見ていく。

問1 空欄に入る適切な表現を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 前後の対話文から空欄に入る表現を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 文中の空欄に入る適切な表現を選ぶ問題。前後の文意を理解していれば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 文中の内容と一致する文章を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

第3問 共通テスト以降、図表やイラストを使用した出題が多くなされ、今年度も引き続き出題された。

A 図表や案内が何を表しているか読み解く問題

問1 割引クーポンに書かれている情報を読み解く問題。学習範囲内の語彙が使用されており、適切な問題と言える。

問2 大学の学生寮の募集案内を読み解く問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

B 地方自治体のウェブサイトから必要な情報を読み取る問題

問1 ウェブサイトの案内の中に入れるタイトルとして適当なものを選ぶ問題。ウェブサイトの内容が読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 ウェブサイトから必要な情報が見付けられない人を選ぶ問題。本文は学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 本文の内容と合うものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

C 水陸両用の「カメバス」を利用した図入り観光案内と「カメバス」運行時間表を読んで、与えられた情報の中で実施可能なプランを考えさせる問題。テーマ、使用語彙、表現等は学習範囲内で適当であるが、エリア毎の情報や注意事項が多すぎ読者にとっては分かりづらい内容となっている。丁寧に文章を読ませることを意図しているとも言えるが、実際の案内文を想定した課題文としては不自然な感じが拭えない。以下に各問を見ていく。

問1 案内を見て旅行者ができる内容を選ぶ問題。正答は①。正答は簡易に導き出すことができるが、誤答の②、③ともに「カメバス」時間表の注意事項「12月～2月は1日に2回のみ運行」と関連した内容なので、どちらかを他の文章にした方が良かったと思われる。

問2 本文の内容と一致するものを選ぶ問題。正答は④「1年中どの時期に行っても食堂の利用は可能だ。」と⑤「公園の中に別途に作られた空間で両親の還暦祝いを開くことができる。」。いずれも案内文の内容をかなり丁寧に読む必要があるが、問題としては適切である。

といえる。

第4問 「自尊心」を持つことの重要性を、類似した用語である「自尊心」と比較しながら様々な例を挙げつつ記述した長文エッセイ。「自尊心」という言葉は、日本で韓国語を学習する高校生にとってはなじみが薄いですが、最近韓国では使われる機会が増えていると言う。他者と比較することで自己への肯定感を得るのではなく、ありのままの自己を認識することで肯定的に自己を捉えることができ、ひいては他者のありのままの姿をも受け入れることができるようになるといった内容である。テーマ性があり、優れた文章ではあるが、高校学習者を対象とした課題文としては、難解で抽象度が高すぎるとも言える。以下に各問を見ていく。

問1 文章中に使用された漢字語の1漢字と同じ漢字が使われている漢字語を選ぶ問題。前回までは大問1の中で漢字語の語彙知識のみを問う問題であったが、文中に挿入することで自然な形での設問となった。全体として適当な問題ではあるが、(イ)㉓のㅁㅁㅁは漢字語ではなく、受験者を必要以上に惑わす結果をもたらしかねない。今後は、誤答であっても漢字語のみを提示することを望む。

問2 文中의 사람の中で、自尊心のある人を表しているものを選ぶ問題。良問。

問3 下線部㉔「自尊心はこのような表面的に見える‘幸運’とは次元が異なる。」の理由として適当なものを選ぶ問題。正答は㉕「自尊心は自らを理解し、尊重する心の問題であるため」。全体の文意が理解できれば解ける問題。

問4 文中に挿入する言葉を選ぶ問題。正答は㉖그러다보니(そうしているうちに)と그런다고 해서(だからといって)。適切な問題。

問5 ㉗의 複数の意味・用法を理解しているか試す問題。「役割」という意味での使用は、学習範囲内と言えるが、それ以外の用法(事情、出来事など)は学習範囲内とはいえず、難問。

問6 文中に挿入する適当なものを選ぶ問題。正答は㉘(自分自身を知ること)。適当な問題。

問7 文中に挿入することばを選ぶ問題。正答は㉙(顔色をうかがうこと)

問8 以下の文章を挿入する場所を選ぶ問題。正答は㉚。適当な問題。「他人ではなく‘私にとって’良い人になろうとする努力が自身の自尊心を作るのである。」。

問9 自尊心がある人の行動を表した文章を選ぶ問題。正答は㉛「自身の長所をよく活かすことができる仕事と趣味を持つ。」。適当な問題。

問10 本文の内容と合うものを二つ選ぶ問題。正答は㉜「自尊心は正しい人間関係を結ぶのにも重要だ。」と㉝「自分が自尊心を持つことではじめて他者も自分を尊重してくれる。」。文意をよく理解していれば解ける問題。

3 ま と め

本試験に比べ、追・再試験は相対的に難易度の高い問題になっている。特に第4問の長文は、扱っているテーマ、語彙、表現全てにおいて、日本の高校で外国語として学ぶ内容の範囲内とは言い難い。本試験と追・再試験の難易度に大きな差があることは、今後は正される必要があろう。第1問の「発音」に関する問題については、本試験の評価で述べた通りである。今後の改善を望む。